

広報委員会市民交流部会の活動報告

広報委員会委員 市民交流部会 部会長 高橋 辰三 (62期)

1 市民交流会の取り組み

広報委員会の一部会である市民交流部会は、市民の方々に司法を身近に感じていただくことを目的として、市民メンバー約30名を毎年募集し、裁判傍聴、検察庁、法科大学院、刑務所その他の司法関連施設の見学会、弁護士との懇談会を行っています。

その活動の一環として平成28年11月22日に実施した毎年市民メンバーからも好評をいただいている企画である最高裁判所見学会について報告します。当日は、22名の市民メンバーの方々、当会の芹澤眞澄副会長ほか5名の広報委員及び広報課職員が参加しました。

2 最高裁判所庁舎見学

最高裁判所秘書官のご案内の下、最高裁判所庁舎内の図書館、大ホール、大法廷、小法廷を見学しました。

建築家岡田新一氏の設計による庁舎の正門から入ると吹抜けの天井の大ホールがあり、ギリシャ神話の女神テミスイメージで作られた「正義」像とベンチに座る男の子と女の子の周りに鳩が集まっている平和への願いが込められた像が左右に設置されています。テミス像は目隠しをされて天秤を持っているのが一般的ですが、最高裁に設置されているものは目隠しをせずに公平に天秤を掲げています。

大法廷は、最上部までの高さ41メートルの円筒状の天井にある天窓からは自然光が差し込んでいます。電気を消しても中を見渡すことが可能になっているとのこと、当日は照明を消して自然光の明かりの様子を見せていただきました。

3 鬼丸かおる判事との懇談

小法廷では元当会会員の鬼丸かおる最高裁判事からお話を伺う機会をいただき、市民メンバーからの質問に答えていただきました。

鬼丸判事からは、最高裁判事としての日々の仕事内容、休日の過ごし方、弁護士時代の仕事ぶりや、裁判制度について事実審と法律審の違いなどを市民メンバーにもわかりやすく説明していただきました。

鬼丸判事のお話により市民メンバーの方々も引き込まれたようで、記念撮影の後は、ご挨拶をしようと鬼丸判事の周りにメンバーの人だかりができてしまうほどで、部会長としては少し羨ましく、また悔しくも思いました。

4 最後に

最高裁見学は充実したもので、市民メンバーからも参加して良かったという反響をいただいています。ご協力いただきました鬼丸判事及び最高裁判所事務局の皆様には、この場を借りてあらためて御礼申し上げます。

市民交流部会は、今回の見学会のように、市民メンバーとの交流を通じて司法に対する市民の声を聴く場を月に1回程度のペースで設けています。最高裁見学の他に、市民メンバーから最も印象に残ったと言われることの多い企画が刑務所見学です。これまで府中刑務所、横浜刑務所、川越少年刑務所への引率実績があります。

また、昨年度からは弁護士会館内でお弁当とお茶を飲みながら市民メンバーと意見交換をする懇談会に加え、非公式企画としての懇談会二次会（飲み会）も実施するようになりました。こちらも弁護士や弁護士会をより身近に感じていただく機会となっていて、概ね好評をいただいています。

もし、会員の皆様の周りでのこのような活動にご興味があるお知り合いがいらっしゃいましたら、毎年3月に実施しているメンバー募集の情報（東弁ウェブサイトにも掲載中）をご案内いただければ幸いです。



2列目中央が鬼丸かおる判事